

# ビワ生育情報

千葉県  
平成24年5月号

## 平成24年4月の気象

平成24年4月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は第1から第5半旬で平年並みか平年を0.3~2.1℃下回った。月平均気温は13.4℃で、平年より0.4℃、前年より0.9℃低かった。

降水量は第3、第5及び第6半旬で平年を上回った。第2半旬は降雨がなかった。月合計は210mmで、平年より38mm(22%)、前年より106mm(102%)多かった。

日照時間は第3から第6半旬で平年を下回ったが、月合計は171時間で、平年より5時間(3%)多く、日照時間が多かった前年より58時間(25%)少なかった。

表1 平成24年4月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	10.8	11.6	10.4	19	28	3	44	25	41
2	11.0	13.1	14.8	0	25	12	51	27	26
3	13.5	13.5	14.0	61	26	11	25	27	50
4	12.9	14.1	14.2	5	37	32	24	28	37
5	14.7	15.0	15.6	52	36	42	13	29	31
6	17.6	15.7	17.0	74	20	5	15	30	44
平均/合計	13.4	13.8	14.3	210	172	104	171	166	229

## 6月の作業(果実の発育は次ページ)

6月前半には梅雨に入り、曇雨天の日が多くなる。5月に引き続き収穫が行われ、晩生の「田中」でも6月下旬には終了する。夏肥(礼肥)は収穫後の樹勢を速やかに回復させるために欠かせない作業であるので、適期を逃がさず施用する。また台木の播種は、梅雨明け前に発芽させるように、早めに行うことが肝要である。

### 収穫

6月は露地ビワの収穫最盛期に当たる。市場において他の果実との競合が激しくなっているので、品質の良い完熟果を出荷して市場、消費者の信頼を得るように心掛けたい。

### 夏肥の施用

夏肥は樹勢の回復及び夏枝の伸長と花芽分化を促すために必要である。収穫直後に速効性肥料を用いる。10a当たり施肥量(成分量)は、耕土の浅い園で窒素10kg、りん酸9kg、加里5kg、耕土の深い園でそれぞれ7kg、8kg、3kgを施用する。

## 果実の発育

5月1日現在の果径は表2に示した。横径は「楠」が2.65cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ2.78cm、2.21cmであった。本年の横径は3品種共に平年より4～17%小さかったが、生育不良だった前年と比較して2～20%大きかった。

縦径は「楠」が2.95cm、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ2.91cm、2.50cmであった。本年の縦径は3品種共に平年より2～14%小さかったが、生育不良だった前年と比較して「楠」では20%、「大房」では5%大きく、「田中」はほぼ同じであった。

果形指数は「楠」が0.90、「大房」及び「田中」は3地区の平均で見るとそれぞれ0.96、0.88で、3品種共に平年より小さかった。果形は「楠」及び「田中」では平年より縦長の傾向であり、「大房」は平年並みである。

「大房」及び「田中」は開花始期が平年より早かったが、1月から4月中旬までの低温の影響により、5月1日時点の果実の発育は3品種共に平年より遅れている。本年は平年に比べ、着花房率が高かったが、寒害の被害はやや多く、着果量は平年並みかやや少ない予想である。また、4月上旬の強風により葉擦れの発生が見られ、更に、小果傾向であるため、減収が予想される。病害虫ではクワゴマダラヒトリの発生が平年より多く、果実の被害程度も平年より多い。果樹カメムシ類は、越冬量が南房総市ほか県南地域で平年より多く、今後の発生予察情報を参考にする。カメムシの発生の多い地域では、ビワ園への飛来に注意を要する。

表2 果実の発育（5月1日の果径）

品 種	調査地	横径(cm)			縦径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	暖地園研	2.65	2.88	2.21	2.95	3.07	2.46	0.90	0.94	0.90
	青 木	2.48	3.02	2.45	2.72	3.09	2.71	0.91	0.98	0.90
大 房	南 無 谷	2.91	2.98	2.60	2.97	3.04	2.81	0.98	0.98	0.93
	暖地園研	2.95	2.73	2.57	3.03	2.85	2.82	0.97	0.96	0.91
	平 均	2.78	2.89	2.54	2.91	2.98	2.78	0.96	0.97	0.96
田 中	青 木	1.99	2.76	2.12	2.27	3.03	2.46	0.88	0.91	0.86
	南 無 谷	2.14	2.63	2.15	2.49	2.89	2.45	0.86	0.91	0.88
	暖地園研	2.49	2.60	2.22	2.75	2.82	2.54	0.91	0.92	0.87
	平 均	2.21	2.67	2.16	2.50	2.91	2.48	0.88	0.92	0.87

果形指数：横径／縦径

平年：1986年～2011年の26年間の平均

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>